令和2年度　指定管理者評価表

【別紙５】

施設名：河内長野市都市公園

指定管理者名：公益財団法人河内長野市公園緑化協会

１．個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。		
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。		
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
	労働諸法を遵守しているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。		
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	B	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

２．収支報告

単位:円

		事業計画Ａ	事業実績B	A−B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入			0		
	自主事業収入			0		
	物品販売収入			0		
	手数料収入			0		
	指定管理料	217,719,000	217,719,000	0	206,419,000	
	その他収入			0		
	収入総額	217,719,000	217,719,000	0	206,419,000	
支出	人件費	42,321,000	41,264,551	1,056,449	28,008,223	
	事務費	6,749,000	5,613,314	1,135,686	7,349,322	
	管理費	167,751,000	174,567,895	(6,816,895)	170,332,246	
	自主事業経費			0		
	光熱水費	672,000	773,728	(101,728)	502,575	
	リース料	226,000	402,924	(176,924)	226,634	
	その他			0		
	支出総額	217,719,000	222,622,412	(4,903,412)	206,419,000	0
収支差額		0	(4,903,412)	4,903,412	0	0

３．総合評価

自己評価

令和2年度　指定管理業務自己評価

概要

令和2年度はコロナ禍により緑化推進をテーマにした教室やイベントは全て中止し、恒例のイルミネーションも当初点灯はしたものの、途中で中止した。従って同年度は必要な管理行為を中心に事業展開を実施したが、公園施設の老朽化や、緑地の樹木の高木化、大木化が顕著であり、今後の公園管理の重要な課題になってきている。

公園施設の点検については年4回実施し、3段階に分けて評価、判定し、改修、補修を実施しており、市民からの苦情、要望についてもその都度連絡、現場立合等を実施し、迅速な対応に努めている。

寺ケ池公園菖蒲園の整備

同公園の主要施設である菖蒲園については、雑草の繁茂、泥の堆積、キショウブの繁茂等劣化が進んでおり、そのことについて当方でも議論を重ね、大規模なリニューアルが必要であるとの結論が導き出されたところである。従って令和3年度に予定されている市によるウッドデッキの改修に合わせて当方でもショウブの植替を実施する予定である。

労務状況

直営での管理行為の中核をなすのが7名の現場対応嘱託職員であり、全員がチェンソー、刈払機の研修を受講し業務に当たっている。殆どが高齢者ではあるもののその分熟練しており、円滑な業務を実施している。

令和2年度には働き方改革による諸手当の充実のため、所要の規定改正を実施した。

プロパー職員については、平成30年度に1名の欠員が生じ、補充を市へ要望しているが、未だに実現していない。現在臨時的職員で対応しているが、事業展開に支障を来している。

危機管理

防火訓練、職員の救急救命講習の受講はそれぞれ1回ずつ実施した。また、台風等による風水害発生の可能性のある状況では、応急対応用の資材を備蓄し、市の要請に対応できるよう体制整備に努めている。

市評価

・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、指定管理業務に加え、啓発ポスターの各公園への掲示や大阪コロナ追跡システムの導入など、感染拡大防止対策に協力いただいたことについて大きく評価する。
・南花台第8緑地の法面崩壊において、応急対応や臨時駐車場の整備等、全面的に協力いただいたことについて感謝する。
・公園の開花状況やボランティア団体の活動に関する情報、新型コロナウイルス感染拡大防止のための啓発等について、ホームページやSNSを用いて積極的に情報発信に取り組まれたことについて評価する。今後も様々な媒体を活用して公園緑化協会の認知度を高めていただくよう期待する。
・令和元年度の第三者評価における指摘事項（情報発信が不十分であること、指定管理専用口座の開設等）、モニタリング制度に基づいて指摘した事項（災害時の対応等各種マニュアルの整備等）について令和2年度中に全て是正・改善されたことを確認した。
・公園維持管理業務については、限られた予算のなか、可能な限り職員直営作業により修繕を行う等、担当者の創意工夫によって対応していることに感謝する。今後も継続して利用者の安全を第一に、予防保全的な対応による快適な公園の利用や魅力向上を期待する。
・令和2年度はコロナ禍により各種イベントの中止を余儀なくされたが、今後のウィズコロナ・アフターコロナ時代に向けて、感染症対策を徹底した上で、オープンスペースである都市公園のポテンシャルを生かし、より一層魅力あるイベントの計画立案・実施を期待する。